

オンライン授業について

本学では実技系授業、講義系授業それぞれの内容に適したいくつかの方法で大学に入構できない期間、オンラインでの授業を行います。この説明は概要となります。4月末を目途に具体的な授業履修の仕方、注意点などを告知していきます。

オンライン授業の形式

1. リアルタイム(同時双方向)型

Zoom や Teams などの Web 会議システムなどを用いて教員と学生全員がオンラインでつながり授業を行う形態です。授業ごとに具体的な進め方は異なりますが、典型的には、次のように進められると考えてください。

・授業形態例 1 実技授業

オリエンテーションで課題の説明。課題を理解した上で、スケッチや作業を行い、声掛けやチャット画面で教員のアドバイスを受けます。その成果を次回の授業までにアップ。アップされた作品や成果物に対してアドバイスをもとに、次の制作に進む。最終週に作品写真やプレゼンテーションボードをクラウド上にアップし、全員で回覧しながら講評を受けます。

・授業形態例 2 演習・講義授業

教室で講義を聞くように、先生の話パソコン等を通じて聞きます。15分～20分ごとに先生から簡単な質問や課題が提示されるので、いったん通信を中断し、その質問や課題について考える時間を設けます。再びオンラインで質疑応答、意見交換。最終評価は、課題に基づく制作物、またはレポートや試験によって成績評価を行います。

2. オンデマンド(非同期)型

教員がクラウド上にあらかじめアップした授業動画やテキスト、画像、動画資料等を、指定された期日までに各自がダウンロードして学習を進めていく形態です。授業後には掲示板で議論や質疑応答が行われますが、必ずしも同時双方向的ではありません。

・授業形態例 1 実技授業

あらかじめ録画された動画や画像、テキストによる課題や参考資料をみて、成果物を作成し、指定された期日までにクラウドにアップ。成果物に対して掲示板で教員からアドバイスや、質疑応答。

期限までに最終成果物をアップ、または実物を郵送。それによって成績評価が行われます。

・授業形態例 2 演習・講義授業

あらかじめ録画された授業動画、あるいはテキストや画像、動画資料が、定められた時間までにアップされています。

それらの動画や資料を参考に、指示された課題や意見を提出。掲示板で議論・質疑応答。

最終的に試験やレポートで成績評価が行われます。

授業で使うアプリ

授業で使うアプリとしては、主にビデオ会議システムの Zoom と学習管理システムの Microsoft Teams を用います(両方を用いる授業と、いずれか一方だけを用いる授業があります)。学科によっては別のクラウドサービスを使うこともあります。Zoom と Teams は大学で会員となっているため無料で利用できます。Zoom をはじめとするセキュリティに関する注意点は 4 月末を目途に告知いたします。

授業を受ける環境

●スマートフォンでも受講できますが、画像を見たり、課題提出を求める授業も多いため PC やタブレット等を推奨します。学科によっては PC が必需品になるため、これから購入を検討されている方は具体的な推奨機種は、各学科研究室に相談してください。

PC	Apple Macbook Air メモリ: 16GB ストレージ: 256GB	¥ 98,000(税別)程度
	ASUS, Dell, Lenovo など Windows OS メモリ: 8GB 以上 ストレージ: 256GB 以上	¥ 68,000(税別)程度
タブレット	Apple iPad ストレージ: 32GB Wi-Fi モデル(携帯電話サービスなし)	¥ 33,000 (税別)程度
	Lenovo Tab E8 ストレージ: 16GB Wi-Fi モデル(携帯電話サービスなし)	¥ 18,000(税込)程度

PC: 持ち運びが容易なノート PC を推奨します。タブレットより高価ですが、多機能でデザインワークが可能です。**ただし、具体的な推奨機種は、各学科研究室に相談してください。**

タブレット: Zoom や Teams が使用可能で授業を受けることができ PC に比べ安価ですが、グラフィックソフトを使用する課題には不便なこともあります。

中古モデルでも問題ありませんが、インターネットのセキュリティの面から最新の OS が搭載可能なモデルを推奨します。音声付動画を受信して授業を受講するため、カメラとマイク(デバイスに内蔵されたカメラやマイクで可)が使用できるものをお願いします。なお授業で用いるプリントの配布は、ファイル(PDFや Word)での配信を予定しています。ファイルを紙に印刷することは、各自にお願いする予定です。

●オンライン授業を受講するにあたり、以下のインターネット環境整備をお願いいたします。インターネット接続には、主として次の3つの方法があります。

- (1) 携帯電話のデータ通信を利用する方法(テザリング)
- (2) 専用の無線通信機器(Wi-Fi ルーター)を利用する方法
- (3) 自宅の固定電話回線や光ケーブル回線を利用する方法

自宅でオンライン授業を受講し学修活動を行うには (3)を推奨しますが、当面はそれ以外のタイプでも十分です。大学としても各学生の通信環境が多様であることに十分に配慮しオンライン授業を実施します。なお、オンライン授業の受講に当たっては通信

容量が膨大になります (Zoom は一時間の視聴で 300~400MB データを消費するため、フルにリアルタイムの授業に参加すると一日当たり 2GB 程度必要となります)。データ通信容量の「無制限・大容量化」については、政府が通信会社に対して、学生のスマートフォンに関する容量制限の緩和や解除を要請中です。今後の報道または通信会社の案内を確認してください。

※携帯電話サービス各社の支援措置

- ・ドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html
- ・KDDI <https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/04/03/4364.html>
- ・ソフトバンク及びワイモバイル https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403_01/
- ・UQ コミュニケーションズ https://www.uqwimax.jp/annai/news_release/202004061.html
- ・OCN モバイル ONE <https://www.ntt.com/personal/services/mobile/one/member/u2510g-202004.html>
- ・maineo https://optage.co.jp/press/2020/press_22.html

教科書等

教科書等の購入については、大学構内への立入りが禁止されているため、オリエンテーションと履修登録の後、オンラインで注文を受け付けます。

注文サイトについては LiveCampus にてお知らせします。